

# 土木学会四国支部「土木紀行」No.76(高知県)

## 「JR 高知駅」



写真1 高知駅南側

今回紹介する構造物は、高知県で最も主要な駅といえる JR 高知駅である。高知駅は、高知県高知市栄田町二丁目に建設されている四国旅客鉄道（JR 四国）土讃線の駅である。写真1に載せてある高知駅は3代目で、2008年（平成20年）2月26日に完成したもので、外観、内部ともに、他には見られないデザイン、そして構造となっている。そのことを踏まえ、今回の紹介の中では高知駅の特徴的な構造の紹介と周辺の観光ポイントを紹介していきたい。

高知県は全国でも有数の木材産出県で、中でもスギ、ヒノキの生産が圧倒的に多い。このため、県のシンボルとしての駅舎には、ぜひ県産材を用いてほしいというのが地元の当然の願望であった。したがって高知駅では県産のスギを構造材として有効に用いる設計を行っている。駅舎の大屋根はスパン38.5m、長さ60mであるが、このスパンを、県産スギの集成材を上弦材とし、鋼管を下弦材およびラチス材とするハイブリッド構造で構成されている。アーチの形状は、南側では在来線を運用しながらの建設を可能



写真2 高知駅北側

にし、かつ、高架上の新線をカバーするため、アーチ脚部をくの字型の鉄骨で構成して高架構造の上に載せ、北側では自由通路を覆って地上で支持するという、特殊な構造システムが採用されている。この大屋根は、駅前から柱が立ち上がり、駅をすっぽりと覆う構造で日本では例がない。また、単に駅舎の屋根というのではなく、高知の新しいシンボルになるように計画されており土佐の風土らしく、「新しいもの」に挑戦してデザインされている。そして、写真3にしめす木目の付いた型枠を使用し作成されたコンクリートも高知駅における特徴のある構造の一つといえるだろう。



写真 3 北側のドーム支柱

最後に、高知駅周辺の観光について紹介させていただく。写真4にあるのは坂本竜馬、武市半平太、中岡慎太郎の3志士像である。これらの像の高さ約5.3m、台座を含めると約8.3mもある。発泡スチロールやウレタン製であったため一時は台風の強風で飛ばされるという心配で撤去されていたこともあった。当初は3月から高知市・桂浜の竜馬像の両脇に他の2人の像を並べる計画だったが、反対が相次ぎ中止に追い込まれた。一度は2人の像を後ろに下げることで決着したが、震災の影響で7月に延期し台風を考慮し駅前への設置で落ち着いたという。この像のほかにも高知駅のすぐそばには週末になると野外で坂本竜馬の劇もやっており、追手筋の日曜日と合わせて楽しめるイベントとなっている。



写真 4 高知駅前の3志士像

皆さんも是非日本や世界に引けを取らないデザイン性と構造をもつ高知駅に足を運んでみてはいかがだろうか。

参考文献 高知県ホームページ

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/171701/renritsu.html>

(高知高専専攻科 建設工学専攻 1年 竹内慈永)

土木学会四国支部「土木紀行」 <http://doboku7.sakura.ne.jp/kikou/kikou.htm>

土木学会四国支部 <http://www.jsce7.jp/>